

岐阜市における「医薬品の正しい使い方」に関する調査アンケート結果

岐阜薬科大学実践薬学大講座病院薬学研究室 寺町ひとみ（学長 勝野眞吾）

平成 20 年 3 月改訂の新学習指導要領では、医薬品に関する内容が中学校保健体育科保健分野に盛り込まれました。このような状況の中で、平成 24 年度「医薬品に関する教育」の導入に向け、現在の日本の医薬品に関する知識、態度、行動を明らかにするため、岐阜市の児童生徒の「医薬品の正しい使い方」に関する知識・意識調査および指導実施状況調査を行いました。ご協力いただきましたことをお礼申し上げます。以下にアンケート調査結果についてご報告いたします。

1. 回収数及び有効回答率

□	児童生徒						指導者		
	回収数(人)	性別			有効回答数(人)	有効回答率	回収数(校)	回収数(人)	有効回答率
		男	女	不明					
小学校	1420	743	665	12	1408	99.2%	46	90	100%
中学校	789	388	382	19	770	97.6%	22	71	100%
高校	36	13	21	2	34	94.4%	1	4	100%
合計	2245	1144	1068	33	2212	98.5%	69	165	100%

2. 児童・生徒における学校種別集計結果

(1) 体調不良時の対処(複数回答可)

(%)	家で薬を飲む	家族に相談	早めに寝る	病院に行く	学校の先生(保健室等)に相談	薬局で相談	その他
全体	66.5	64.4	63.6	54.5	10.8	2.6	5.8
小学校	66.9	69.6	65.6	57.3	12.9	2.5	5.0
男	66.8	62.1	65.7	57.6	10.9	3.2	5.3
女	67.0	78.0	65.4	56.9	15.1	1.7	4.7
中学校	65.1	56.2	61.2	50.1	7.6	2.7	7.3
男	65.9	48.7	65.1	50.1	7.8	3.1	8.6
女	64.3	63.8	57.2	50.1	7.3	2.4	6.0
高校	79.4	32.4	35.3	38.2	0.0	2.9	5.9
男	84.6	23.1	38.5	38.5	0.0	7.7	7.7
女	76.2	38.1	33.3	38.1	0.0	0.0	4.8

(2) 薬の使用目的(複数回答可)

(%)	風邪	発熱	頭痛	腹痛	乗り物酔い止め	アレルギー (鼻炎、ぜんそく、アトピー、じんましん等)	下痢	歯痛	その他
全体	78.6	75.8	40.9	37.4	30.7	30.5	18.7	4.6	5.5
小学校	80.9	77.1	39.1	34.9	31.4	30.6	19.0	5.2	5.4
男	79.8	75.0	34.8	29.5	27.0	30.6	20.2	4.5	5.4
女	82.1	79.4	43.9	41.0	36.2	30.7	17.7	5.9	5.4
中学校	74.6	73.1	43.9	41.8	30.5	30.5	18.0	3.8	5.9
男	76.5	72.3	46.7	39.7	24.0	26.1	21.7	2.6	6.0
女	72.6	73.9	41.1	43.9	37.1	35.0	14.2	5.0	5.8
高校	76.5	82.4	47.1	38.2	8.8	23.5	23.5	2.9	0.0
男	92.3	69.2	38.5	23.1	7.7	15.4	15.4	0.0	0.0
女	66.7	90.5	52.4	47.6	9.5	28.6	28.6	4.8	0.0

(3)薬の使用時における相談相手(複数回答可)

(%)	両親や祖父母	医師・歯科医師	治療や予防のためにいつも飲んだり、使ったりしなければならない薬があるので、自分の判断で使う	治療や予防のためにいつも飲んだり、使ったりしなければならない薬があるわけではないが、自分の判断で使う	薬剤師	兄弟姉妹	学校の先生(保健室等)	友達	その他
全体	84.5	29.6	14.3	14.1	9.3	5.1	3.3	1.5	1.0
小学校	88.8	31.2	13.4	9.1	10.2	5.8	3.6	1.4	0.9
男	85.7	32.2	14.5	8.8	9.2	4.9	4.1	1.4	1.2
女	92.1	30.1	12.1	9.4	11.3	6.8	3.0	1.4	0.5
中学校	76.7	27.4	16.3	22.4	7.8	3.9	3.0	1.7	1.4
男	71.8	27.6	17.4	25.5	9.2	3.7	3.9	2.1	2.1
女	81.6	27.1	15.3	19.2	6.3	4.2	2.1	1.3	0.8
高校	84.8	12.1	6.1	33.3	6.1	0.0	0.0	0.0	0.0
男	83.3	25.0	8.3	25.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
女	85.7	4.8	4.8	38.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(4)薬をもらう相手(複数回答可)

(%)	両親や祖父母	医師・歯科医師	薬剤師	自分で持っている	兄弟姉妹	学校の先生(保健室等)	友達	その他
全体	66.9	54.6	29.3	16.1	2.3	1.0	0.8	3.3
小学校	69.2	57.8	30.5	13.0	2.7	1.0	0.7	3.0
男	66.3	57.1	33.4	11.2	2.1	1.0	0.8	3.5
女	72.5	58.6	27.2	15.1	3.3	1.1	0.5	2.5
中学校	61.8	50.1	28.0	21.2	1.7	0.9	1.1	4.0
男	57.0	46.2	30.5	17.5	2.1	1.1	1.6	5.0
女	66.6	54.1	25.5	24.9	1.3	0.8	0.5	2.9
高校	87.9	24.2	9.1	24.2	3.0	3.0	3.0	0.0
男	91.7	25.0	16.7	8.3	8.3	8.3	8.3	0.0
女	85.7	23.8	4.8	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0

(5)薬の使用時における注意点(複数回答可)

(%)	いくつ飲むかを確認	いつ飲むかを確認	函で飲むようにする	薬の注意書きを見る	食事をしたか確認	体質を確認	自分ではあまり気をつけな	その他
全体	84.7	75.6	70.2	46.9	31.6	10.9	5.5	1.6
小学校	85.5	78.5	74.4	50.3	34.2	12.6	4.6	1.5
男	82.7	76.8	74.3	49.4	35.2	12.2	5.6	1.4
女	88.5	80.4	75.2	51.2	33.1	13.0	3.6	1.7
中学校	83.5	71.2	63.2	42.1	27.9	8.1	6.6	1.9
男	81.9	68.4	65.7	44.4	29.5	9.6	6.1	1.9
女	85.1	74.0	60.7	39.8	26.3	6.6	7.2	1.9
高校	78.8	57.6	42.4	18.2	12.1	6.1	12.1	0.0
男	75.0	41.7	41.7	33.3	16.7	16.7	25.0	0.0
女	81.0	66.7	42.9	9.5	9.5	0.0	4.8	0.0

(6)薬に関する用語の認識度

(%)	日般用医薬品	医療用医薬品	ジェネリック医薬品	かかりつけ薬局	おくすり手帳	ドーピング	学校薬剤師
全体	59.2	63.2	43.8	47.3	56.4	54.0	19.8
中学校	59.3	63.3	43.8	45.6	56.3	53.2	20.2
男	61.3	60.6	40.8	41.4	49.9	69.1	20.4
女	58.3	66.1	47.0	49.9	62.9	36.8	20.0
高校	57.6	60.6	42.4	84.8	57.6	72.7	12.1
男	75.0	66.7	50.0	75.0	58.3	91.7	16.7
女	47.6	57.1	38.1	90.5	57.1	61.9	9.5

※「知っている」と回答した割合

(7)薬に関する知識

(%)	薬を牛乳やジュースで飲んではいけない場合があること	錠剤をガリガリかんで細かくして飲んだり、カプセル剤の中身を出して飲んだりすることは、よくない場合があること	薬の飲み方の（食間）とは、食後2時間程度たってから飲む薬のことで、食事の中に飲む薬ではないこと	なぜで病院へ行き、5日分の薬をもらって、3日で熱も下がりに行けるようになっても、残った2日分をすべて、飲まなくてはいけない場合があること	ほとんどの薬には、副作用があるといわれていること	正しい量の薬を飲んで、すぐに効かない場合でもそれ以上の量の薬を余分に飲んではいけないこと	定期的のむ薬を一度飲み忘れたら、次に飲むとき、2回分をまとめて飲んではいけないこと	市販の風邪薬には、症状を和らげる成分は入っているが、病原体を殺す成分は入っていないこと
全体	83.2	77.8	48.4	53.5	50.0	81.8	70.8	27.3
小学校	84.4	80.3	49.4	57.6	49.1			
男	82.4	79.9	49.6	54.0	50.0			
女	86.7	80.7	49.1	61.5	48.0			
中学校	81.1	73.0	47.3	47.0	52.2	81.6	70.3	27.7
男	82.1	74.7	48.1	48.6	54.1	81.3	73.9	29.6
女	80.1	71.2	46.5	45.4	50.3	82.0	66.7	25.8
高校	81.8	84.8	33.3	36.4	39.4	84.8	81.8	18.2
男	83.3	83.3	50.0	58.3	58.3	83.3	83.3	41.7
女	81.0	85.7	23.8	23.8	28.6	85.7	81.0	4.8

※「知っている」と回答した割合

3. 指導者における学校種別集計結果

(1) 所属および担当

(人)	保健体育教員	担任兼保健体育教員	養護教諭	その他の担当	計
小学校	4	14	46	26	90
中学校	20	15	23	13	71
高校	3	0	1	0	4

(2) 「医薬品についての授業」

① 有無

(校)	行っている	行っていない	計
小学校	15	31	46
中学校	14	8	22
高校	1	0	1

(人)	行っている	行っていない	計
小学校	30	60	90
中学校	28	43	71
高校	3	1	4

② 該当科目

(人)	体育・保健	理科	ホームルーム	学校行事	その他
小学校	22	3	2	0	4
中学校	21	2	8	0	6
高校	3	0	0	0	0

③ 授業時間

(人)	授業で計30分以下	授業で計1時間以下	授業で計1時間以上	講演会	その他の機会
小学校	0	18	6	7	1
中学校	2	17	3	9	4
高校	0	3	0	0	1

④ 対象学年

(人)	1年	2年	3年	4年	5年	6年
小学校	1	1	1	1	4	25
中学校	12	8	17			
高校	3	0	0			

⑤使用教材

(人)	教科書	日本学校保健 会作成・配布 の冊子	その他のパン フレット冊子類	ビデオ	インターネット からのダウン ロード資料	その他
小学校	20	5	5	9	5	5
中学校	20	0	10	8	9	3
高校	3	0	0	0	0	2

(3) 「医薬品についての授業」を「行っていない」と答えた先生の今後の予定

(人)	実施予定(%)	検討中(%)	未定(%)
小学校	0 (0.0)	34 (56.7)	25 (41.7)
中学校	0 (0.0)	35 (81.4)	5 (11.6)
高校	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (25.0)

(4) 医薬品に関する内容よりも、喫煙・飲酒・薬物乱用についての教育を優先させるべきである。

(人)	はい(%)	いいえ(%)
小学校	60 (66.7)	11 (12.2)
中学校	49 (69.0)	16 (22.5)
高校	0 (0.0)	3 (75.0)

(5) 医薬品についての授業は、教員が行うよりも、外部から講師を招いて講演会を開いた方が有効である。

(人)	はい(%)	いいえ(%)
小学校	27 (30.0)	5 (5.6)
中学校	59 (83.1)	10 (14.1)
高校	0 (0.0)	3 (75.0)

(6) 学校教員を対象とした「医薬品の指導方法」に関する研修会があれば、積極的に参加したい。

(人)	はい(%)	いいえ(%)
小学校	30 (33.3)	4 (4.4)
中学校	55 (77.5)	10 (14.1)
高校	4 (100)	0 (0.0)